2026 年 11 月 6 日

【SUPER GT 第３戦･第８戦 /モビリティリゾートもてぎ】
大会直前情報



11 月 7 日(土)と 8 日(日)の 2 日間、栃木県にあるモビリティリゾートもてぎにおいて 2026 年 SUPER GT 最終大会が開催されます。当初はシーズン最終戦となる第 8 戦のみが行われる予定でしたが、海外情勢によって延期となっていた第 3 戦も組み込まれることが決まり、7 日(土)には第 3 戦として 250km レースが、8 日(日)には第 8 戦として同じく 250km のレースが設定されています。

シーズン最終戦を前に、長年ヨコハマタイヤとともに活躍を続けてきた織戸学選手が、今シーズン限りでの SUPER GT からの引退を発表しました。織戸選手は 1991 年に富士フレッシュマンレースでレースデビューを果たすと、96 年に SUPER GT の前進である全日本 GT 選手権の第 4 戦富士大会に初出場。その足元を支えたのもヨコハマタイヤでした。翌第 5 戦と第 6 戦は GT300 クラスにスイッチ。97 年は縁の深い坂東正明氏(現 GT アソシエイション会長)が率いる RS-R レーシング with BANDOH に移籍すると、シーズン 2 勝を飾ってシリーズチャンピオンに輝きました。織戸選手は 2009 年にも再び RACING PROJECT BANDOH から参戦し、2 度目のチャンピオンに。「毎回、『今回で最後』と思って自分の力を出し切る戦いをしてきました。最後のレースはさみしい気持ちも少しありますが、基本は一緒。悔いのないように終えたいですね」と、この週末に向けて語った織戸選手。ヨコハマタイヤとともに走り続けた織戸選手の、SUPER GT ラストランにご期待ください。

世界でも珍しいタイヤ・マルチメイクシリーズの SUPER GT ですが、2027 年からはワンメイクレースへと変わります。GT500 クラス、GT300 クラスともに、ヨコハマタイヤでの GT の戦いはいったん幕を閉じることに。最終シーズンのラストレースを前に、GT300 クラスではリアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R(ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手／木村偉織選手)が 73 ポイントをもってランキングをリード。17 ポイント差で CARGUY Ferrari 296 GT3 EVO のザック・オサリバン選手が単独 2 位につけていますが、今大会を欠場。逆転を狙うライバルの最上位とは 20 ポイントの差をつけています。2 レースを戦う今大会は最大で 52 ポイントを獲得できるため、20 ポイント差は安全マージンとは言えませんが、これまで同様に着実な走りで上位フィニッシュを目指し、タイトル獲得を狙います。

また、GT300 クラス時代からヨコハマタイヤとともに戦ってきた WedsSport BANDOH GR Supra(国本雄資選手／阪口晴南選手)ともこれがラストレース。直近の 2 戦では予選でめざましい速さを見せており、明日からの決戦を前に行われた専有走行でも好タイムを記録しています。有終の美を飾るべく、一丸となって週末の戦いに挑みます。

土曜日も日曜日も好天が予想される週末。絶好のレース日和のもと、それぞれがシーズン最高の戦いを目指して走ります。ヨコハマタイヤ勢の走りにぜひご期待ください。







